

## 会議録 (1)

会議の名称	令和元年度第1回飯能市下水道事業審議会		
開催日時	令和元年7月25日(木) 開会 午前10時00分 閉会 午前11時20分		
開催場所	飯能市浄化センター 2階 会議室		
議長氏名	内沼 正実		
出席委員	内沼 正実、青木 茂、新井 茂、嶋崎 季子 新野 代里子、佐武 泰史		
説明者の 職氏名	上下水道部長 参事兼下水道課長 主 幹 主 幹 主 幹 主 査	田中 隆宏 佐野 勇 清水 孝 加藤 智史 土肥 伸光 射矢 直之	
傍聴者の数	0人		
会議次第	別紙		
配付資料	別紙		
事務局職員 職氏名	上下水道部長 参事兼下水道課長 主 幹 主 幹 主 幹 主 査 主 任 主 任 主 任	田中 隆宏 佐野 勇 清水 孝 加藤 智史 土肥 伸光 射矢 直之 真船 八洲 都築 遼子 鈴木 智大	



### 会議録 (3)

	開会 午前10時00分
	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ</p> <p>3. 職員紹介</p> <p>4. 議事</p>
会 長	<p>議事 (1) 平成 30 年度下水道事業実績について、事務局より説明願います。</p> <p style="text-align: center;">－ 事務局説明 －</p>
会 長	<p>説明は以上です。何か質疑はございますか。</p>
委 員	<p>浸水対策事業についてお伺いします。予定概算事業費 17 億円について、財源内訳はどうなっていますか。</p>
整備担当リーダー	<p>事業費の財源内訳としましては、2 分の 1 については国庫補助金を活用する予定でおります。平成 30 年度に発注した浸水対策工事につきましても国費を充当しており、今年度の工事にも内示をいただいております。今後もしっかり国庫補助金を獲得しながら事業を進めていきたいと考えております。</p>
委 員	<p>先程、浸水対策工事に係る財源の半分が国庫補助金であるとの説明でしたが、それ以外は起債であるのかお伺いします。</p>
管理担当リーダー	<p>2 分の 1 が国庫補助金で、残りの 2 分の 1 が企業債となります。</p>
委 員	<p>一般会計からの繰出金の関係はどうなっていますか。</p>
管理担当リーダー	<p>企業会計となり繰出金の算定方法が一部変更となるため、負担割合等につきましても、今後、担当課と調整していきたいと考えております。</p>
委 員	<p>雨水に関しての一般会計からの繰出金の考え方についてお伺いします。</p>
下水道課長	<p>算定方法が一部変更となる場合がございますが、基本的には特別会計と企業会計で繰出基準が変わることはありません。雨水を処理する費用については公費、汚水処理に関する費用については私費であり、この基本原則は変わっておりません。</p> <p>この基本原則に基づき、雨水を処理する費用に対しては公費を充てる考</p>

<p>委 員</p>	<p>えでおります。</p> <p>今まで飯能市では汚水の整備が主流でしたが、最近は雨水もクローズアップされ、市税が投入される形に変わりました。今後は、そうした認識をもって事業を進めていただきたいと思います。</p> <p>また、先程、浸水対策事業の財源は2分の1が補助金で、残りの2分の1は起債であるとの説明でしたが、単に借金をするというのではなく、起債の償還に対しては、下水道使用料ではなく市税が充てられるよう、費用負担に関しては、一般会計の財政サイドと認識を明確化しておく必要があります。</p>
<p>委 員</p>	<p>下水道使用料の対前年度比較を、調定額で行っている理由は何ですか。</p>
<p>下水道課長</p>	<p>平成30年度は打切り決算のため、3月31日で会計を閉めました。現金ベースで比較いたしますと2か月分の使用料が計上されないため、前年度と同様の比較をするために調定額とさせていただきました。</p>
<p>会長</p>	<p>他に質疑はございますか。</p> <p>ないようですので、議事(2)令和元年度下水道事業計画について、事務局より説明願います。</p> <p style="text-align: center;">— 事務局説明 —</p>
<p>会 長</p>	<p>説明は以上です。何か質疑はございますか。</p>
<p>委 員</p>	<p>令和元年度の当初予算では、減価償却費の計上など、これまでになかった支出が計上されています。現金支出が伴わないものであるとの説明でしたが、これだけ多額の支出が出てくると、それを穴埋めするものは具体的に何かという疑問が出てきます。減価償却費が約14億円計上されていますが、どうやって収支均衡を図っているのですか。</p>
<p>管理担当リーダー</p>	<p>収益的収支につきましては、支出において約14億円の減価償却費が計上されておりますが、収入においても約9億円の長期前受金戻入という現金を伴わない収入が計上されています。収益的収支の差引額は税込みで約2,500万円の黒字ですが、現金ベースでは5億円以上の現金が残ることになりますので、この現金を使用して、資本的収支の不足額を補てんすることとなります。</p>
<p>委 員</p>	<p>下水道事業の経営戦略についてお伺いします。社会資本整備事業の関係が終わったら、新たに経営戦略が始まるという考えでよろしいですか。</p>
<p>管理担当リーダー</p>	<p>社会資本整備事業につきましては、国庫補助金をもらうためには引き続き整備計画を作成する必要があります。</p>

委 員	<p>経営戦略を策定するというので、大変な事業計画を策定するのかなと思うのですが、心構えはどうか。</p>
下水道課長	<p>経営戦略につきましては、経営面や組織面を十分考慮しながら力を入れて策定していきたいと考えております。</p>
委 員	<p>下水道事業は、特にハード面で莫大な費用がかかることから、長期的な視点で、しっかりと財源を確保し、経営の見える化を図りながら進めていくのが経営戦略ではないでしょうか。</p>
下水道課長	<p>全国的に一般会計における下水道会計への費用負担が深刻化している状況であると聞いております。</p> <p>本市の下水道使用料は、埼玉県内では高くなっておりませんが、全国的には平均並みで、自主財源の確保に努力しているところでございます。</p> <p>持続可能な下水道経営という観点から財源の確保は大きな課題であり、今後は、自主財源である下水道使用料と地震対策や老朽化対策の更新費用とのバランスなども含め、長期的な視点に立って経営戦略を策定していきたいと考えております。</p>
委 員	<p>飯能市の人口は横ばいですが、日本全体では 10 年後は人口が減っているので、今後は一人当たりの負担が増加することが予想されます。計画の中に、負担をお願いする内容を盛り込んでいかないといけないのではないのでしょうか。</p>
下水道課長	<p>経営戦略の策定に当たりましては、将来人口等につきましても市の上位計画との整合性を踏まえて策定していきます。</p>
会長	<p>他に質疑はございますか。</p> <p>ないようですので、これをもちまして議長の職を解かせていただきます。本日はありがとうございました。</p>
下水道課長	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。</p> <p>浸水対策事業である笠縫雨水幹線工事につきましては、平成 28 年度に調整池から溢水したことから、土地区画整理事業、公園事業、財政課などの関係各課と協議し、飯能市として雨水事業に着手したものでございます。</p> <p>今後も安心安全な下水道事業であり、市民の皆様に理解が得られる下水道事業になりますよう、水洗化促進活動、管きょ整備工事、下水道施設の維持管理、下水道 PR をしっかりと進めていきたいと考えております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p>
	<p>閉会 午前 11 時 20 分</p>

議事の内容・概要を記載し、相違ないことを証するためここに署名  
します。

令和 年 月 日

議長の署名 \_\_\_\_\_

委員の署名 \_\_\_\_\_